

2021-2022 理事主題

大久保知宏（宇都宮）

- 1) 国際会長 キム・サンチェ(韓国)
 - 主題 “Y’s Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 - スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」

- 2) アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)
 - 主題 “Make a difference beyond the 100th” 「100 年を越えて変革しよう」
 - スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」

- 3) 東日本区理事 大久保 知宏（宇都宮）
 - 主題 私たちは次の世代のために何ができるか？
“Think for the next generation.”
 - スローガン 絆を深める時
“We are stronger together than we are alone.”

2021-22 年度はワイズメンズクラブが生まれて 100 年の節目の年です。同時に次の 100 年の始まる年となります。次の世代を育て、何を伝えていくのかを考える年とすべきと思います。コロナウイルスなどの影響を受ける年になることが予想されますが、それに対応した制度を作っていく年度にしていかなければならないと考えています。

次の 100 年のためにできることのひとつが、スローガンとした絆を深める時であると考えました。コロナウイルスは個人の身体的な脅威であると同時に、組織の弱体化を引き起こしています。組織の弱体化を止めるためには会員の絆を深めることが最重要と考え、スローガンとしました。

重点課題として次のことを掲げます

東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。

一般社団法人として信用度を高め、会員増強において Change!2022 の目標を達成する。

一般社団法人として、対外的な情報発信力を高める。

新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。

対面にこだわらず、会員の健康を最優先とした運営を行う。

新たな環境に対応できるようトレーニングを行う。

新しい組織を検討する。

組織力の低下を補う新組織を構築する。

グローバルクラブを設立する。

現役リーダーのユースクラブを設立する。

今回のパンデミックの発生という事態に対応したクラブの在り方を考えなければなりません。企業が事業継続計画を策定し、こうした事態に対応するように、ワイズメンズクラブもこうした事態での組織存続をどのように図るのかを計画しなければならないと思います。現在の状況での組織存続のカナメは何と言ってもクラブの会員維持にあります。経済状況は様々ですが、コロナの影響を大きく受けられている会員もいらっしゃると思います。区としては緊縮予算を策定して、区費負担の軽減を図っていきたいと考えています。